

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年9月1日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

公的責任で 住み続けられるまちづくりを！

自治体で計画づくりすすむ 自治体と懇談、要請も

北海道 計画検討協議会が始まる。 人材確保、生活支援など議論

8月29日、第1回北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画検討協議会が行われました。会議では、北海道の高齢者の状況や地域格差が大きい第5期計画の進捗状況、制度の見直しの概要などが報告され、第6期計画の策定、計画作成指針(検討案)など協議しました。

10月	第2回「計画骨子(案)」
12月	第3回「計画(素案)」
1月	パブコメ
2月	第4回「計画(案)」
3月	計画決定

協議では、「人材確保」問題が話題になり、道の担当者から国の試算に当てはめると、道内で2025年までに新たに7万人必要になると説明。施設やヘルパー事業所から現状でも、他の分野の人手不足もあり集まらない。また地域を支えるケアマネも不足しているなど、確保問題が重要な課題であることが明らかになりました。また、「生活支援」についても、「対象者はどのくらいいるのか」「地方ではボランティアのなり手がいない」「長期的な支援はボランティアでは無理」「倫理観のある専門職が担うべき」などの質問や意見も出されました。

旭川 訪問看護ステーション・ホールヘルプ利用者調査結果示し、充実もとめる

8月26日、旭川・上川社保協は、医療・介護総合確保推進法による市の対応、第6期介護保険事業計画策定進捗状況について旭川市と懇談を行いました。社保協から13人が参加しました。

懇談の中では、訪問看護ステーションの看護師不足の実態を明らかにしたアンケート調査の結果や、ヘルパーSTひろがりからは、旭川地区ヘルパー連絡会議での利用者さんへのアンケート調査が報告され、制度の充実を求めました。市は、「実際の現場の状況や利用者さんの声はとても参考になる」と話し、市としても意見を集め、説明会等も計画、11月～年内にかけて素案作成とパブリックコメントを予定していると説明しました。



室蘭 「保険料は下がることはない」「NPO、ボランティアはむずかしい」



8月28日、西胆振社保協は、室蘭市に対して、介護保険見直しに関する要望書を提出して懇談しました。社保協からは13名が参加しました。

○新しい介護予防・日常生活支援総合事業について 移行の時期は未定。利用者負担の下限は1割負担、事業者の単価は下回る。「多様な主体による多様なサービス」「地域での支え合い」は、NPOボランティアが可能となるが、むずかしいのでは。

○特養待機者は7月末で665名。

○介護保険料は下がることはない。今でも「高い」と言われている

介護保険改悪に対し、自治体とともに、住民を守る運動を！

9.12 緊急 学習交流集会 13時～15時 北海道民医連会館

メイン報告 斉藤 浩司 氏 (札幌社保協事務局長)

国と自治体にどのように運動して行くのか。第6期介護保険事業計画に対し、保険料引き上げ反対など、どう住民の声を反映して行くのか。共に学んで運動を進めましょう。

